

第17回鹿児島県U14クラブチャンピオンシップ男子バレーボール大会

新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

1 大会期間

令和4年 11月5日(土)～6日(日)

2 試合会場およびコート

- (1) 原則、1会場につき3コートまでの設営とする。
- (2) 日差しの影響がない場合は、原則カーテンを開けて試合を行い、換気を十分に行うこと。また、試合中の換気ができない場合は、セット間や試合間を利用して必ずカーテンを開けて換気すること。
- (3) 会場校は、更衣スペースにゆとりを持たせる工夫をし、更衣室も換気ができるようにすること。
(一度の入室制限・チームの入れ替え 等)
また、更衣室の消毒は使用したチームが責任を持って行えるようにアルコール等の準備をしておくこと。
- (4) 冷水機の貸し出しは、体調不良を除き原則禁止とし、飲用水は各チームで準備すること。
- (5) 体育館使用や立ち入りを許可された場所以外の使用は一切禁止とする。

3 大会の参加について

- (1) 大会参加チームはこのガイドラインに則して大会に参加し、感染症対策事項や各会場校のルールを遵守し、率先して協力すること。また、これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場などを求めることがある。
- (2) 各チームにおいて、大会参加についての保護者の同意を得て、所定の大会参加同意書(様式1)に記入し、各チーム責任者が保管すること。
- (3) チーム責任者は、別紙「選手・スタッフ入館者一覧名簿(様式2)」「チーム関係応援者一覧名簿(様式3)」を本部へ提出する。(大会開催日2週間前までの検温と行動記録の確認)
チームスタッフ・保護者等は、本部が準備したIDカード(IDの書式は、大会実行委員長から各チームへメールで送ります。)に入力、印刷し、大会期間中は必ず着用する。カード入れ等はチームで準備すること。(選手のIDは不要)
「チーム関係応援者一覧名簿(様式3)」は、入館時に保護者が持参し、係に提示する。チームが敗退した時点で本部へ提出する。「健康チェックシート」は、本年度はありません。
- (4) 応援者は、保護者等とする。保護者等とは、両親・祖父母・兄弟・登録外メンバーに限定する。一般の観客は会場には入れない。
- (5) チームにコロナウイルス感染者・濃厚接触者が判明した場合の対応については、以下の状況で判断する。

選手・チームスタッフ個人への対応

<大会前>

① 大会前1週間以内に感染が判明した場合

「その後のPCR検査において陰性が確実に確認され」かつ「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できなければ

- ア その期間の当該部員、チームスタッフの出場は認めない。
- イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

② 大会前に濃厚接触者と認定された場合

「PCR検査において陰性が確実に確認され」かつ「保健所の指示により参加を認められる」ことが確認できなければ

- ア その期間の当該部員、チームスタッフの出場は認めない。
- イ エントリー選手の変更は、大会初日または復帰当日に行うことができる。

<大会当日>

③ 大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合

- ア その日の大会参加は認めない。試合の観戦や応援も認めない。
- イ チームは保護者に連絡を取り帰宅させ、関係機関の指示に従うこと。

<大会期間中>

- ④ 大会期間中に感染や濃厚接触が確認された場合、上記①、②を適用する。

※該当チームは、大会本部に確実に連絡すること。

大会本部は、保健所に報告し指示をあおぐ。また、会場校や対戦相手にも情報を共有しその後の対応について、チーム責任者や学校管理職とも協議し、対応の決定を行うこと。

<大会後>

- ⑤ 大会後に感染が判明した場合

- ア 症状発現の前後2日間で最も感染させやすい時期という報告から、大会後においても感染が判明した場合は、該当チームは大会事務局（清水中学校内 宇都優一 099-247-7211）に確実に連絡すること。
- イ 県協会担当者は、保健所に報告し指示をあおぐ。また、会場校や対戦相手にも情報を共有し、チーム責任者は、学校管理職に相談しその後の対応を協議すること。

チームへの対応

<上記の「個人への対応」の全対応項目と合わせた「チームへの対応」>
上記 ①、②を適用する。

<学校が臨時休校や学級閉鎖等の措置をとっている場合>

- ⑥ 臨時休校が大会期間中にかかる場合は、参加不可とする。

4 試合運営について

- (1) 試合会場の設定（原則1会場につき3コートの設営とする。）

- (2) 試合時間の設定

<全試合共通>

- ① 各セット間は、換気および給水を十分に行う。
- ② 試合間は最低15分以上とる。3試合連続の場合は、30分以上とる。
（前試合終了のゲームセットのハンドシグナルが出された15分後に次の試合のプロトコールを開始する。）
- ③ コートオフィシャルをするチームは、プロトコール10分前に集合を完了する。記録員は、筆記用具を持参すること。
ラインジャッジは、各チームでフラッグを準備すること。（選手は、体育館に常時入館できる）
- ④ コートオフィシャルの人数は、ラインジャッジ4人、点示員2人、記録員2人、ボールレトリバー2人の計10名とする。
- ⑤ チームは、試合球を2個準備しておくこと。
- ⑥ 大会1日目・2日目とも、3試合目終了後に昼食時間を40分設ける。
- ⑦ 選手・チームスタッフ・審判（帯同審判）は、常時体育館に入ることができる。ただし、中学校会場においては、会場責任者の指示に従うようにしてください（中学校会場は待機場所がないため）。
（チームスタッフは、外に出る必要はありません。）

<試合設定時間>

- ① 試合設定時間は設定しない。最低15分の試合間をとり、病気やけが防止のためのアップができる時間をとる。

5 応援・観戦について

- (1) 応援・観戦は保護者等のみとし卒業生等の応援・観戦は不可とする。なお、保護者等の入場は、試合開始10分前（プロトコールの時間）とし、入館の際は保護者代表とチームスタッフで連絡を取り、IDカードを着用の上、消毒をして、チームスタッフが自チームの保護者等の入館をする。
- (2) 応援方法は拍手のみとし、声援・鳴り物等は禁止とする。
- (3) 観戦者の人数制限は、1チームにつき1日目30人、2日目フリー（制限なし）とする。1日目と2日目で入館する保護者が変わってもよい。1試合ごとに入館する保護者を変更することはできません。ただし、中学校会場については、会場の都合で、入場人数の変更があることがあります。その場合は、会場責任者の指示に従ってください。

6 全体注意事項

- (1) 公式練習前の練習・公式練習・試合中以外はマスクの着用を確実に行うこと。各チームや個人においては適切な距離を確保し、感染症予防に努めること。
- (2) アップゾーンの選手はマスクを着用すること。ただし、適切な距離を確保できる場合はその限りではない。
- (3) スタッフ・選手は、試合中にベンチで適切な距離を確保し、マスクを着用することが望ましい。ベンチに配置する椅子は、間隔を空けて5脚置くこととする。
- (4) コートオフィシャルも必ずマスクを着用すること。(筆記用具は、各自持参すること。)
- (5) チームは消毒液(アルコール等)を準備し、入場の際や待機時に使用した場所を消毒すること。
- (6) 待機場所については、各会場の指示に従う。待機場所においても密を避けた行動をする。待機・更衣場所やベンチ、応援ギャラリーについては、各学校の準備した消毒用品で消毒する。
- (7) 試合中について
 - ① 試合開始時の握手はせず、エンドラインで「礼」をした後はベンチに下がる。終了時も同じ。
 - ② 試合開始前のキャプテン同士や審判との握手はしない。
 - ③ 手指の消毒を、タイムアウト時、セット間に積極的に行う。
- (8) 試合後について
 - ① 試合後は、選手をフロアから出し、チームは、使用したベンチ等は、チームスタッフで消毒を行う。
 - ② 手洗い、うがいをしっかり行わせる。
- (9) 保護者等の入場については、大会スタッフの指示で行うこと。
- (10) 各会場への朝の入場に際しては、玄関が密にならないよう大会スタッフの指示により入場すること